

# 今昔物語

その50

## 鵜殿村役場

### 鵜殿地区



昭和50年ごろ

紀宝町役場所蔵



現在

今回は昭和50年ごろに撮影された鵜殿村役場の写真を紹介いたします。

写真の鵜殿村役場は、現在の役場倉庫（旧鵜殿村消防団庫）の位置にあり、木造平屋建てで、もともとは大正6年に鵜殿警察署として建築されましたが、昭和32年、警察署の移転に伴い、鵜殿村役場の庁舎として使用されました。

移転当時は、役場の業務も複雑ではなく、職員数も少なかったため、庁舎にはゆとりがあったそうです。しかし、時代が推移していくと、業務も多種多様になり、職員数も増加していき、何度か増改築が行われました。

その後、鵜殿小学校の新築や村の施設がおおよそ完成した昭和59年、村制施行90周年事業として現在の場所に鉄筋コンクリート造り3階建ての庁舎が建てられ、現在も使用されています。

### 昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただき、詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

## ひろきほう

### 広報きほうを卒業します

今月号をもって、4年間担当した広報きほうを卒業することになりました。この4年間は僕の中でも早く時間が流れていったように思います。初めてカメラを持って、前任の愛野さんと一緒に取材に行ったこと、初めて一人で特集を組んだときのこと、どれもが昨日のごとくに思い出されます。

広報担当になったばかりのときは、右も左もわからず、広報きほうのプレッシャーに押し潰されそうになったこともありました。毎月迫ってくる締め切り、「この記事のレイアウトはどうしよう」「今月の表紙や特集はどうしよう」など頭を悩ませることもあり、僕にとって広報紙づくりは苦しむことのほうが多かったです。そんなとき、取材に行った先で、みなさんから「いつも広報みとるよー」や「広報が毎月の楽しみやわー」などの温かい声をいただくたびに勇気ももらえ、それが僕の広報紙づくりの原動力になっていました。

改めて、広報紙づくりで僕と関わっていただいた方、毎月広報紙が届くのを楽しみにしていただいた方、快く取材に応じていただいた方、みなさんの協力なしには、毎月の広報きほうは完成していませんでした。本当にありがとうございました。

少し話は変わりますが、表紙の写真の河津桜には「思いを託す」という花言葉があるそうです。このひとりごとを書いているときには、だれが広報担当になるのかわかりませんが、次の広報担当者に脈々と受け継がれている広報きほうへの「思い」を託します。

最後になりますが、今後とも広報きほうをよろしくお願ひします。4年間ありがとうございました。

（めがねブラザーズ弟、卒業 田中健太郎）  
（今月号はお休み 大森菜央）



田中健太郎